

平成27年度 独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園
運営懇談会（第17回）議事概要

平成28年3月24日(木)
13:30～15:50

1. 開会
2. 理事長あいさつ
3. 議事
 - (1) 次期中期目標期間に向けた検討について
 - (2) 平成28年度予算（案）について
 - (3) 平成28年度組織改正等について
 - (4) 感染症予防の取組について
 - (5) 入所利用者へのサービスの質の向上の取組について
 - (6) 地域支援関連事業について
 - (7) 「みどり香るまち大賞」受賞について
 - (8) 友愛会の帰還について
4. 閉会

【議事に対する主な質疑（○：委員、●：のぞみの園）】

- (1) 次期中期目標期間に向けた検討について
 - 入所利用者の平均年齢等は何歳か。
 - 入所利用者の平均年齢は63歳、最年長は91歳、最年少は17歳。
また、死亡された方の平均年齢は66歳です。
- (2) 平成28年度予算（案）について
 - 人件費の割合は何割か。
 - 非常勤職員を含めると約8割が人件費。支援が困難な利用者にはどうしてもマンパワーが必要であり、採算がとれない支援や、あるいは調査・研究、研修・養成といった全国の事業所を対象に行っている事業については、国立の施設として取り組んでいます。
- (3) 平成28年度組織改正等について
 - 現在地域の中で運営されている地域生活体験ホーム「くるん」と「うぐいす」を止めてしまうことについて、地域住民に説明して欲しい。
 - 止めてしまうわけではありません。対象者が減ってしまったのでいったん休止というかたちです。今後の活用については検討します。
 - 特に「うぐいす」はまだ3年であり勿体ない。今まで地域活動にも参加してきた実績もある。これからも是非有効に活用して欲しい。

●地域の方にはしかるべき説明をさせていただきます。のぞみの園としても貴重な資源だと考えていますので、今後の活用方法については十分検討させていただきます。

(4) 感染症予防の取組について

○感染ルートはどこからか。

●確認は出来ないが、おそらく他の医療機関を受診した時ではないかと思われます。

(5) 入所利用者へのサービスの質の向上の取組について

○プライバシーの確保について、研修等で職員の意識を高める必要がある。

●利用者本位の支援を行うための研修を実施していますが、さらに工夫していきたいと思えます。

○ソフト洗濯洗いの導入については、はじめある女性利用者から希望があり、保護者会でも自己負担額等の関係で賛否があったが決定し要望させていただいた。結果として職員の手間が軽減されたと思うので、その分の更なる支援の充実に期待している。

(6) 地域支援関連事業について

○発達障害児支援について、サービスを受けたくても移動手段がない方がたくさんいるので、地域に拠点を設けて出前サービスを実施することを検討されたい。

また、市の教育委員会と連携して、需要を把握することも必要である。

●関係機関との連携は重要だと考えており、現在国立リハビリテーションセンターに設置されている発達障害・情報支援センターとの連携を検討しています。そうした中で教育機関や市への働きかけも考えていきたいと思えます。

○短期入所利用について、利用希望者の情報の把握はどのように行っているのか。

●特別支援学校と連携し、教員への理解に努めています。

○あまり知られていないので校長会に出席して説明すればよい。知ればもっと利用者は増える。

(7) 「みどり香るまち大賞」受賞について

特になし

(8) 友愛会の帰還について

○帰還後も継続して支援しているのか。

●友愛会に対しては、当法人の一部施設をお貸しているが、受入れ当初から支援していると言うよりお互い「良き隣人」としての関係であり、帰還後もその関係に変わりはないと考えています。

ただし、もし何か特別な支援要請があれば、できる限り協力したいと思います。

○服薬については大丈夫か。

●新たな主治医にしっかり情報提供できるよう準備を進めている。